第４学年　図画工作科学習指導案

日　時　７月１１日（金）６校時

対　象　４年１組　　30名

授業者　八嶋　孝幸

１　題材名「自然の形を組み合わせて」（絵に表す）

２　テーマ　身近な生活や社会の中の形や色に気付き,豊かに関わる学びっぷり

３　本時の授業

（１）目標　 材料や用具を試したときの感覚や行為を通して，気付いた自然物の形やそれを組み合わせた感じなどから

表したいことを見付け，手や体全体を十分に働かせ材料や用具などを生かしながら，工夫して表すことができ

る。

（２）展開　３／４

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | ・教師の働きかけ　◎評価　☆支援 |
| １　前時までの学習を振り返る。  ・図工室内にあるものの形を組み合わせて版に表した。  ・紙に写してみると，イメージしていたより面白い絵ができた。  ・シリコン版画の仕組みにおどろいた。  ２　課題を確認する。  自然の形を組み合わせて、版に表そう。  ３　製作の際に気を付けるポイントについて確認する。  ・インクの出し方→少量ずつ使用する  ・ローラーの使い方→「行きは電車，帰りは飛行機」  ・周りや作品を汚さない工夫  ・見当の使い方  ４　イメージしたことを基に，工夫して表現する。  ・どのように配置したらよい感じになるかな。  ・この材料には，この色が合いそうだ。  ５　活動を振り返る。  ・イメージした通りに表現できた。  ・もっとこうしたいと思うことが出てきた。  ６　次時の連絡をする。 | ・組み合わせた形の感じや材料の感じに意識を向けられるようにする。  ・用具を置くコーナーの位置を工夫し，児童が必要な  用具を取りに行く時になるべく多くの児童の活動を  目にすることができるよう設定する。また，見たい時にいつでもお互いの活動を見合えるルール設定を  する。  ☆気を付けるポイントを明示し，意識できるようにす  る。  ・表したいことに合わせて適切な用具を選び，安全に使えるような準備や使い方の指導についての工夫をする。  ◎表したいことに合わせて形や色を工夫しながら表現することができている。（技能／活動の様子，作品）  ・様々な方法を試した後に見付けた方法を共有できるようにする。  ・Teamsに作品の写真と振り返りを入力するよう指示  する。  ・完成した作品を鑑賞し合い，それぞれの表現のよさや面白さを見付け合う予定を伝える。 |